※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ②	2	1	Amity English Communication Ⅰ 開隆堂　出版 Amity English Communication Ⅰ ワークブック 開隆堂　出版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業である。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行う。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しよう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港などの短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	・５０語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについて簡単な語や表現を用いてやり取りをすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・日常生活で必要な基本的な情報を、簡単な語や表現を用いて他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めると共に、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
後期	Lesson 6 “Our School” Lesson 7 “Serendipity” Lesson 8 “Sapeurs”	聞くこと	a: 比較級・最上級の意味や働きの理解を基に、日常的な話題や人生の生き方などについて話された説明の内容を捉える技能を身につけている。 b: 日常的な話題や人生の生き方などについて話された説明の内容を聞き、概要と要点を捉えている。 c: 日常的な話題や人生の生き方などについて話された説明の内容を聞き、概要と要点を捉えようとしている。	グループ・ワーク 小テスト 定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 比較級・最上級の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 日常的な話題や人生の生き方などについて書かれた内容を読み、概要と要点を捉えている。 c: 日常的な話題や人生の生き方などについて書かれた内容を読み、概要と要点を捉えようとしている。	小テスト、課題 定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 相手の意見と経験に尊重しながら、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 日常的な話題や人生の生き方などについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 日常的な話題や人生の生き方などについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けようとしている。	グループ・ワーク 小テスト 定期考査 （スピーキング）
		書くこと	a: 論理的に一貫性のある文章を書く技能を身につけている。 b: 日常的な話題や人生の生き方などについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 日常的な話題や人生の生き方などについて、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	小テスト、課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 9 “Special Makeup Effects” Lesson 10 “Clean Water” Reading “tupera tupera”	聞くこと	a: 分詞、関係代名詞の意味や働きの理解を基に、社会的な話題（職業、資源問題）について話された内容を捉える技能を身につけている。 b: 社会的な話題（職業、資源問題）について話された内容を聞き、必要な情報、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（職業、資源問題）について話された内容を聞き、必要な情報、要点を捉えようとしている。	グループ・ワーク 小テスト 定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 分詞、関係代名詞の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 社会的な話題（職業、資源問題）について書かれた内容を読み、必要な情報、要点を捉えている。 c: 社会的な話題（職業、資源問題）について書かれた内容を読み、必要な情報、要点を捉えようとしている。	小テスト、課題 定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 分詞、関係代名詞を用いた文に関する英語の特徴や決まりを理解している。 b: 社会的な話題（職業、資源問題）について、情報や考えを理由や根拠と共に、簡単な語句や文を用いて話している。 c: 社会的な話題（職業、資源問題）について、情報や考えを理由や根拠と共に、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	グループ・ワーク 小テスト 定期考査 （スピーキング）
		書くこと	a: 論理的に一貫性のある文章を書く技能を身につけている。 b: 社会的な話題（職業、資源問題）について、情報や考えを理由や根拠と共に、まとまりのある文章を書いている。 c: 社会的な話題（職業、資源問題）について、情報や考えを理由や根拠と共に、まとまりのある文章を書こうとしている。	小テスト、課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度